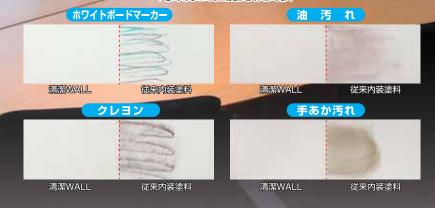
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

<u>防火材料認定(NM-8585·QM-9</u>816·RM-9364)

汚れがつきにくく、落としやすい、日本ペイントイチ押し内装塗料!!!

び来内装塗料に比べ、手あか汚れなどの生活汚れがつきにくく、 また、容易にふき取りが簡単です。

汚染除去性能比較試験



試験方法

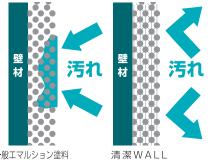
- ・各種の汚れを付着させ、中性洗剤を含ませた布でふき取り、さらに水ぶきを行う。
- ※乾燥条件や用途により実際とは若干の差がでる ことがあります。
- ※「清潔WALL」の乾燥が不十分な場所では、性能を十分に発揮しない可能性があります。 その為、低温時や湿気のこもるような場所では数日間乾燥が必要となります。
- 2 特殊エマルションの採用により、塗装中に嫌な臭いがせず、 塗装後も嫌な臭いが残りません。
- 優れた抗菌性を持ち、院内感染や食中毒の原因となる菌を防ぎます。 (大腸菌(0157を含む)メチシリン耐性黄色ぶどう球菌(MRSA)) また、建物に発生するカビの繁殖を抑制します。
- 4 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレンなど各省庁の 規制指針に該当する化学物質を配合していません。
- 「清潔WALL下塗」が可塑剤移行を抑制するので、塩ビク□スの上にも 塗装することができます。
- 水性塗料[F☆☆☆☆]で有害重金属(鉛·クロムなど)を配合しないので、 環境・健康にやさしい塗料です。



汚れがつきにくく、落としやすい

緻密な塗膜が、様々な汚れの進入を抑制する。

疑似架橋した緻密で極性の高い 清潔WALLの塗膜は、油性の生活 汚れの付着や浸透を妨げ、きれい な状態を長期に維持します。



一般エマルション塗料

用途

内壁面(コンクリート、モルタル、けい酸カルシ ウム板、プラスターボード、塩化ビニルクロス) の新設・塗り替え塗装

■商品体系

塗料名	容量	色相	つや	
清潔WALL 下塗	16kg	白	_	
清潔WALL	15kg	淡彩各色	3分つや程度	

|塗装仕様 〈新設·改修〉

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m²/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法		
素地調整	でみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。								
下塗り	清潔WALL 下塗	1	0.10~0.12 注)	2時間以上	水道水	5~10	はけ・ウールローラー		
上塗り	清潔WALL	2	0.14~0.15 注)	2時間以上	水道水	0~5	はけ・ウールローラー		

- 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

- ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(絡み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)・新設の軽力ル板など、吸い込みの激しい素材に対しては、下塗り工程の前に水性カチオンシーラーを塗装してください。・はげしいヤニ(タバコ)、しみなどの汚染があ る場合、下塗り工程の前に水性シミ止めシーラーⅡを塗装してください。
- ・カタログに記載されている内容は一般的な環境 下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願い申し上げます。
- 注)・「清潔WALL下塗」の塗付け量は、0.08kg/m*/回です。・「清潔WALL」の塗付け量は、0.12kg/m*/回です。・使用量・被塗装面単位面橋あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量・塗付け量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量・塗付け量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量・塗付け量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量





危険有害性情報

- 重篤な眼への刺激
- 発がんのおそれ
- 臓器の障害(単同暴露)
- 長期または反復暴露による臓器の障害

安全衛生上の注意事項

- ■本来の用途以外に使用しないでください
- ■使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ■粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
- ■この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- ■取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ■適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。 ■必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ■飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ■眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用し
- ていて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 ■眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ■取り扱った後、手を洗ってください。
- ■粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできる だけ医師の診察を受けてください。
- ■暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。

- ■緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- ■容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- ■施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
- ■直射目光や水濡れは厳禁です。
- ■塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- ■日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露 しないでください。

横倒禁止

- ■内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄 してください。
- ■容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼ すおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処 理を依頼してください。
- ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
- ■詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- ■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

■注意事項(詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。 低VOCのため、氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管をしてください。
- つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工して
- 吸音板塗替え用顔料分塗材(シールマットⅡなど)の塗替えには使用できません。

- ●清潔WALL (上塗り)・仕上がり肌は、塗料粘度の影響を受けやすいため、レベリングが悪い時は、やや多めに希釈してください。
- また、規定の希釈率を超えて希釈すると、だれ肌になるため希釈率の上限は超えないようにご注意ください 5染物質付着後、長時間放置すると汚染除去性能がうすれることがありますので、なるべく早めに中性洗剤でお拭き
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える 場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。

- 場合がありますので、塗り板見本を参考に話し塗りをしてください。
 塗装画後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
 本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗りと2回塗りでは仕上がり感が異なります。
 汚染除去性は、乾燥条件、使用量、塗り回数などにより若干差がでる場合があります。
 可塑剤が多く含まれる塩ビソル鍋板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお選けください。また。これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
 表面に特殊とウミック処理・特殊ガラスート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、比熱媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
 開缶後は皮張りしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。 【什様全般】
- つや消し系の製品では、塗り継ぎや補修でつやムラが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
- つや消し系の製品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんし、均一な状態でご使用ください。 つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかくはんしながらご使用ください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶 成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装 を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。

- 塗装後24時間以内など乾燥不充分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、は く離、割れ、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。やむを得す塗装する場合は、強制換
- 気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。 ・色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。 ・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけば、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。 ・塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- 繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常に脆弱な素材には塗装できません

- または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避け
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。

- 大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、 希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗 りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって 見えることがあります。 変装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- 第金表力点により倍格が多少変化する場合がありますのに、ローラー塗りは山木の味り入り病よし入れてくたさい。 ・汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、 希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。 ・カウンター、陳列棚、ベンチ、床面など物が常時置かれるような場所には塗装しないでください。 ・布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロス)には塗装できません。
- 使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください

日本ペイント株式会社

お客さまセンター **2**03-3740-1120 **2**06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がこざいますのであらかじめご了承ください。 ●本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。 ●©Copyright 2013NIPPON PAINT Co.Ltd All rights reserved.

カタログNo. NP-R063 TK130602T

2013年6月現在

●当社は2013年6月現在 IS014001を全事業所で認証取得しております。 ●このカタログは再生紙を使用しています。